

プログラム

1日目 9月6日(金)

第1会場(メインホールA)

開会の挨拶

8:50~9:00

長田 誠(国際医療福祉大学保健医療学部医学検査学科(開設準備室))
中山 智祥(日本大学医学部病態病理学系臨床検査医学分野)

シンポジウム1: 遺伝子診療学会 検査技術推進フォーラム企画 遺伝子診療における最新のトピックス

9:00~11:00

座長: 中谷 中(三重大学医学部附属病院ゲノム医療部/伊賀市立上野総合市民病院)
堤 正好(一般社団法人日本衛生検査所協会)

SY1-1 第12回遺伝子関連検査・染色体検査のアンケート調査(日衛協2022年度)結果について

¹株式会社ビー・エム・エル、
²一般社団法人日本衛生検査所協会 遺伝子関連検査受託倫理審査委員会、³株式会社エスアールエル、
⁴株式会社LSIメディエンス、⁵公益財団法人かずさDNA研究所、⁶株式会社ファルコバイオシステムズ、
⁷株式会社保健科学研究所、⁸船橋市立医療センター、⁹国立成育医療研究センター、
¹⁰公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院、¹¹一般社団法人日本衛生検査所協会、
¹²日本大学医学部臨床検査医学分野
山口 敏和^{1,2}、甲斐田信嗣^{2,3}、村瀬 淳子^{2,4}、小原 収^{2,5}、古井 陽介^{2,6}、真柴 新一^{2,7}、
鈴木 誠^{1,2}、釧持 一美^{1,2}、清水辰一郎^{2,8}、黒澤 健司^{2,9}、菅野 康吉^{2,10}、堤 正好^{2,11}、
中山 智祥^{2,12}

SY1-2 令和6年診療報酬改定に関して(遺伝診療に関わるものを中心に)

船橋市立医療センター 病理診断科
清水辰一郎

SY1-3 研究室でのLDTの開発、精度管理の取り組みについて

国際医療福祉大学ゲノム医学研究所
田中 真生、野本 順子、佐藤奈穂子、辻 省次

SY1-4 IRD 遺伝学的検査の意義と遺伝性腫瘍の遺伝子パネル検査の展望

京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学
小杉 眞司

総会

11:10~11:40

座長：宮地 勇人（新渡戸文化短期大学 臨床検査学科）
横田 浩充（慶應義塾大学病院 臨床検査技術室）

- SY2-1 遺伝子関連検査における国際規格 ISO 15189：2022 の意義と導入ポイント**
新渡戸文化短期大学 臨床検査学科
宮地 勇人
- SY2-2 当院でのがんゲノムプロファイリング（CGP）検査の院内実装に向けた取り組みと ISO 15189 に配慮した遺伝子検査室の構築**
東京大学医学部附属病院 検査部
小野 佳一
- SY2-3 ISO 15189 認証に配慮した遺伝子検査室の管理・運営**
青森県立中央病院 ゲノム医療部 臨床遺伝科、同 新興感染症対策推進監
北澤 淳一
- SY2-4 当院における NGS を用いた遺伝子関連検査の運用と ISO 15189 認定への対応**
国立がん研究センター中央病院 臨床検査科
柿島 裕樹

座長：奥川 喜永（三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部）
福田 令（富山大学附属病院 遺伝子診療部）

- O-1 全血中のハウエル・ジョリー小体はコピー数解析に影響して遺伝性腫瘍の誤診断を招く可能性がある**
¹株式会社ファルコバイオシステムズ バイオメディカル事業部、²同 総合研究所、
³国立がん研究センター東病院 医薬品開発推進部門、⁴同 遺伝子診療部門、⁵同 消化管内科
古井 陽介¹、鹿糠 麻衣¹、市川 絵美¹、縄田 俊²、小村 悠³、東岡 広樹³、
桑田 健⁴、中村 能章^{3,5}、坂東 英明^{3,5}、吉野 孝之^{3,5}、福井 崇史¹
- O-2 BRAF V600E 変異と MLH1 蛋白発現欠損の両方を保持する大腸癌の臨床病理学的検討**
¹浜松医科大学医学部附属病院 検査部、²同 遺伝子診療部、³浜松医科大学医学部 内科学第一講座、
⁴同 医化学講座、⁵浜松医科大学医学部附属病院 下部消化管外科、⁶同 病理診断科
岩泉 守哉^{1,2}、金子 雅直³、中島 光子⁴、杉浦 喜一³、江上 貴俊³、立田 協太⁵、
倉地 清隆^{2,5}、馬場 聡^{2,6}、杉本 健³
- O-3 包括的がんゲノムプロファイリング検査における 2 次的所見への対応：単施設観察的研究**
¹北里大学病院 遺伝診療部、²北里大学医学部 泌尿器科、³北里大学大学院 医療系研究科 臨床遺伝医学
津村 秀康^{1,2}、荒木 尚美¹、川田 莉佳¹、高橋 恵子¹、荒木 正雄¹、尾堀佐知子¹、
板倉 彰子¹、飯田祐一郎¹、藁谷 美奈¹、大西 庸子¹、本田 雅子¹、高田 史男^{1,3}
- O-4 がん遺伝子パネル検査における二次的所見の説明プロセスの改善
—患者便益に着目したサービスマネジメント視点から—**
¹北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）先端科学技術研究科、
²ライフテクノロジーズジャパン株式会社 遺伝子解析ソリューション事業部
酒井 和郎^{1,2}、伊藤 泰信¹

- O-5 **BRCA1/2 遺伝学的検査のバリエーション表記方法に関する情報提供のあり方について考える**
¹ 奈良県総合医療センター 遺伝カウンセリング室、² 同産婦人科、³ 同新生児集中治療部
丹羽 由衣¹、新納恵美子^{1,2}、安原 肇^{1,3}、吉元 千陽^{1,2}、佐道 俊幸^{1,2}
- O-6 **当院における QT 延長症候群 (LQTS) で確定診断された家系の現状報告**
¹ 千葉大学医学部附属病院 遺伝子診療部、² 同検査科
宇津野恵美¹、西村 基^{1,2}、松下 一之^{1,2}、市川 智彦¹

シンポジウム 3：遺伝子関連検査の資格に関する話題

16:20~18:20

座長：高田 史男（北里大学大学院 医療系研究科 臨床遺伝医学）
小杉 眞司（京都大学大学院 医学研究科 ゲノム医療学講座）

- SY3-1 **遺伝子分析科学認定士（初級・一級）の資格と今後の展望について**
大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科
藤田 和博
- SY3-2 **日本人類遺伝学会 臨床細胞遺伝学認定士制度**
京都大学 iPS 細胞研究所、日本人類遺伝学会 臨床細胞遺伝学認定士制度委員
原田 直樹
- SY3-3 **認定臨床染色体遺伝子検査師について ～認定師制度の目指すところ～**
筑波大学附属病院 検査部
南木 融
- SY3-4 **当院における認定遺伝カウンセラーとしての取り組み – 遺伝子関連検査に関わる視点から –**
杏林大学医学部附属病院 遺伝子診療センター、杏林大学医学部 臨床検査医学
菊地 茉莉
- SY3-5 **ゲノムメディカルリサーチコーディネーター（GMRC）制度と活動について**
千葉大学 予防医学センター
山本 緑
- SY3-6 **日本組織適合性学会認定 HLA 検査技術者の資格紹介、業務内容、今後の展望について**
株式会社エスアールエル 遺伝子・ゲノム解析部 DNA 解析課
松尾亜紀子

第2会場（メインホールC）

一般演題2：遺伝子解析技術とがん遺伝子パネル検査，その他

9:50~10:50

座長：足立 香織（鳥取大学 研究推進機構 研究基盤センター）
竹田 真由（愛知淑徳大学 健康医療科学部 臨床検査学専攻）

O-7 信州大学医学部附属病院遺伝子医療研究センターにおける色素失調症の遺伝学的検査

¹ 信州大学医学部附属病院 遺伝子医療研究センター、² 信州大学医学部 遺伝医学教室、
³ 同 クリニカル・シークエンス学講座、⁴ 同 医学科、⁵ 信州大学 基盤研究支援センター、
⁶ 信州大学医学部附属病院 バイオバンク 信州
山口 智美^{1,2,3}、松永 伊代⁴、藤川 朝海³、滝口 百合³、古庄 知己^{1,2,3,5,6}

O-8 ゲノムミスセンスバリエーションの新しい影響度評価プログラム：VarMeter

¹ 国立成育医療研究センターゲノム医療研究部、² 同 アレルギーセンター 遺伝情報評価支援室、
³ 創価大学糖鎖生命システム融合研究所、⁴ 東北医科薬科大薬学部、
⁵ 名古屋大学糖鎖生命コア研究所
要 匡^{1,2}、青木英莉子³、青木 大芽¹、真鍋 法義⁴、古川 潤一⁵、榎谷内 晶³、
井ノ口仁一⁴、木下 聖子³、山毛利雅彦¹、柳 久美子¹、山口 芳樹⁴、西原 祥子³

O-9 難病関連データの利活用および国際共有に向けた取り組み

¹ 情報・システム研究機構 ライフサイエンス統合データベースセンター、
² 東北大学大学院 医学系研究科 小児病態学分野、
³ 理化学研究所 バイオリソース研究センター 統合情報開発室、
⁴ 日本医療研究開発機構 ゲノム・データ基盤事業部 データ利活用推進課、
⁵ 鳥取大学 研究推進機構 研究基盤センター、⁶ 北里大学 未来工学部 データサイエンス学科、
⁷ 東北大学 医療情報 ICT 部門 ゲノム医科学情報学分野、
⁸ 東北大学大学院 医学系研究科 希少難病ゲノム解析共同研究講座
藤原 豊史¹、菊池 敦生²、高月 照江¹、櫛田 達矢³、申 在紋¹、山本 泰智¹、
榎屋 啓志³、佐藤 万仁⁴、足立 香織⁵、鎌田真由美⁶、片山 俊明¹、川島 秀一¹、
荻島 創一⁷、仁宮 洸太⁸

O-10 血液を用いたがん遺伝子パネル検査結果からみた HPV 陽性率の検討

¹ 三重大附属病院 ゲノム医療部、² 三重大大学院 消化管・小児外科学
奥川 喜永^{1,2}、北嶋 貴仁^{1,2}、藤原 拓海¹、坪井 順也¹、望木 郁代¹、橋詰令太郎¹、
今井 裕¹、問山 裕二²、中谷 中¹

O-11 臨床検査技師が外來說明を行うことによるメリットについて

¹ 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター、² Memorial Sloan Kettering Cancer Center
山田 寛¹、柳田絵美衣²、西原 広史¹

O-12 日本遺伝子診療学会誌の創刊について

日本遺伝子診療学会編集委員会
中山 智祥、谷口 充、青木 洋子、小杉 眞司、櫻井 晃洋、高田 史男、田澤 義明、
堤 正好

座長: 郡司 昌治 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 検査部)

LS1-1 AmoyDx (R) 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネルの院内導入の経験から見たメリット
~ TAT・精度管理を中心に ~

石川県立中央病院 医療技術部検査室

水口 聖哉

LS1-2 AmoyDx (R) 肺癌マルチ PCR パネル 検査成功のための Tips

新潟県立がんセンター新潟病院 病理部

畔上 公子

座長: 青木 洋子 (東北大学大学院医学系研究科 遺伝医療学分野)
才津 浩智 (浜松医科大学医学部 医化学講座)

O-13 当院におけるミトコンドリア病遺伝子検査の運用

¹ 順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床検査部、

² 順天堂大学大学院医学研究科 難病の診断と治療研究センター/難治性疾患診断・治療学、

³ 同 臨床病態検査医学

半藤 徹也¹、土屋 浩二¹、脇田 満¹、八塚由紀子²、松本 直之²、村山 圭²、
岡崎 康司²、田部 陽子³

O-14 家族性片麻痺性片頭痛におけるてんかん関連遺伝子のバリエーション解析

¹ 近畿大学病院 遺伝子診療部、² 近畿大学医学部 脳神経内科、³ 富永病院 脳神経内科 頭痛センター、

⁴ 甲南加古川病院 脳神経内科、⁵ 近畿大学大学院 総合理工学研究科 理学専攻、⁶ 姫路赤十字病院 遺伝診療部

小田いつき¹、團野 大介²、西郷 和真^{1,2,5}、多田 陽香⁵、池川 敦子⁵、土山 美玲¹、
中村 朱美¹、北村 重和⁴、平野 牧人²、寒川 真²、竹島多賀夫³、永井 義隆²

O-15 COL4A5 遺伝子イントロン領域に病的バリエーションを同定した Alport 症候群の 1 家系

¹ 島根大学医学部附属病院 臨床遺伝・ゲノム医療センター 遺伝医療部門、² 島根大学医学部 小児科、

³ 大田市立病院 小児科、⁴ 神戸大学医学部 小児科

鞆嶋 有紀^{1,2}、堀 大介³、荒木もも子¹、鬼形 和道¹、堀之内智子⁴、野津 寛大⁴

O-16 凍瘡様皮疹を呈し、遺伝学的検査で TREX1 のヘテロ接合性病的バリエーションが
検出された 1 例

¹ 北里大学病院 遺伝診療部、² 北里大学大学院 医療系研究科 臨床遺伝医学

高橋 恵子¹、川田 莉佳¹、荒木 尚美¹、高田 史男^{1,2}

O-17 遺伝学的検査によって RS1 遺伝子に原因バリエーションを検出した先天網膜分離症家系

¹ 日本大学医学部 病態病理学系 臨床検査医学分野、² 同 視覚科学系 眼科学分野

嶋寄 勇¹、中山 智祥¹、原 雄将²、弓狩 雄斗²、山上 聡²

O-18 群馬大学医学部附属病院検査部における眼感染症網羅的 PCR 検査の導入と実施状況

¹ 群馬大学大学院 医学系研究科 臨床検査医学、² 群馬大学医学部附属病院 検査部

常川 勝彦^{1,2}、平本 卓²、泉 絢子²、北沢 早希²、井上まどか²、中嶋 清美²、
村上 正巳^{1,2}、木村 孝穂^{1,2}

座長：仁井見英樹（富山大学 学術研究部 医学系臨床分子病態検査学講座）
佐藤 謙一（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部）

SY4-1 メタゲノミクスで解き明かす腸内マイクロバイオーームと疾患の関連

理化学研究所 生命医科学研究センター 共生微生物叢研究チーム

須田 互

SY4-2 細菌エキソソームの最前線

筑波大学 生命環境系、微生物サステイナビリティ研究センター、JST ACT-X 環境とバイオテクノロジー

野村 暢彦

**SY4-3 シスメックス血液分析装置「XN シリーズ」で得られた敗血症における
NE-WY（好中球領域の蛍光分布幅指数）について**

¹富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部、²富山大学 臨床分子病態検査学講座

山下 瑞稀¹、仁井見英樹²、横田 綾¹

SY4-4 菌数検査の有用性とその測定方法の開発について

富山大学 学術研究部 医学系臨床分子病態検査学

仁井見英樹

プログラム

2日目 9月7日(土)

第1会場(メインホールA)

教育講演 1

9:00~10:00

座長: 櫻井 晃洋 (札幌医科大学医学部 遺伝医学)

- EL1 **がん全ゲノムシーケンスの医療実装とその問題点**
理化学研究所 生命医科学研究センター
中川 英刀

教育講演 2: NGS の精度管理

10:10~11:40

座長: 松下 一之 (千葉大学医学部附属病院 検査部・臨床検査科)

- EL2-1 **NGS を用いた遺伝子関連検査の質保証に関する基本的考え方**
浜松医科大学医学部 医化学
前川 真人

- EL2-2 **短鎖リード型次世代シーケンシングの精度管理:
リシーケンシングによる遺伝学的検査における課題**
かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部、信州大学医学部 クリニカル・シーケンス学講座、
千葉大学 未来医療教育研究機構
小原 収

教育講演 3

13:00~14:00

座長: 中山 智祥 (日本大学医学部 病態病理学系臨床検査医学分野)

- EL3 **ゲノム・オミックス解析の理論と実践**
東京大学大学院 新領域創成科学研究科
鎌谷洋一郎

シンポジウム 5: ジェネティックエキスパート認定制度に関わる話題

14:10~16:10

座長: 足立 香織 (鳥取大学研究推進機構研究基盤センター)
雨宮 健司 (山梨県立中央病院 ゲノム解析センター)

- SY5-1 **ジェネティックエキスパート認定制度の概要と遺伝性疾患の遺伝学的検査における役割**
浜松医科大学医学部 医学科
才津 浩智

- SY5-2 **がんゲノム医療におけるジェネティックエキスパート認定者の役割**
国立がん研究センター中央病院 臨床検査科
柿島 裕樹

SY5-3 ジェネティックエキスパート認定者合格者体験記

長崎大学病院 ゲノム診療センター

有働恵美子

SY5-4 ジェネティックエキスパート認定制度試験を通して育まれるスキルと臨床検査室における役割

株式会社 OVUS

村瀬 悠理

SY5-5 ジェネティックエキスパートの合格を通して

東京医科歯科大学病院 がんゲノム診療科／遺伝子診療科

高嶺恵理子

SY5-6 ジェネティックエキスパート認定者へのアンケート調査結果

山梨県立中央病院 ゲノム解析センター

雨宮 健司

閉会の挨拶（次回大会長の挨拶）

16:10～16:20

閉会の挨拶 長田 誠（国際医療福祉大学 保健医療学部 医学検査学科（開設準備室））

次回大会長の挨拶 才津 浩智（浜松医科大学医学部 医化学講座）

第2会場（メインホールC）

一般演題 4：ELS 委員会企画 遺伝学的検査の実名での実施に向けた現状と課題

9:00~10:00

座長：渡邊 淳（金沢大学附属病院 遺伝診療部・遺伝医療支援センター）
岡崎 哲也（岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野）

O-19 実名での遺伝学的検査の実施体制構築に向けて

¹ 岡山大学学術研究院 医歯薬学域臨床遺伝子医療学、² 岡山大学病院 臨床遺伝子診療科、
³ 日本遺伝子診療学会 ELSI 委員会、⁴ 株式会社シード・プランニング、⁵ 筑波大学附属病院 遺伝診療部、
⁶ 公益財団法人かずさ DNA 研究所、⁷ 川崎医科大学 小児科学、
⁸ 国立成育医療研究センター 遺伝子細胞治療推進センター・臨床研究センター、
⁹ ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社、¹⁰ 大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科、
¹¹ 株式会社エスアールエル、¹² 株式会社ビー・エム・エル、¹³ 北海道大学病院 臨床遺伝子診療部、
¹⁴ 千葉県がんセンター 遺伝子診療科、¹⁵ 金沢大学附属病院 遺伝診療部・遺伝医療支援センター
岡崎 哲也^{1,2,3}、相澤 弥生^{3,4}、有田 美和^{3,5}、糸賀 栄^{3,6}、徳富 智明^{3,7}、中國 正祥^{3,8}、
西田 美和^{3,9}、藤田 和博^{3,10}、別府 弘規^{3,11}、山口 敏和^{3,12}、山田 崇弘^{3,13}、
横井 左奈^{3,14}、渡邊 淳^{3,15}

O-20 遺伝学的検査の非匿名化での実施に向けた登録衛生検査所（SRL）での取り組み

株式会社エスアールエル、日本遺伝子診療学会 ELSI 委員会
別府 弘規

O-21 遺伝学的検査：外注時の匿名化のメリットを見直してみませんか

¹ 公益財団法人かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部、² 日本遺伝子診療学会 ELSI 委員会
糸賀 栄^{1,2}、小原 収¹

O-22 自社での遺伝学的検査の非匿名化受託に向けた取り組みの現状

株式会社ビー・エム・エル、日本遺伝子診療学会 ELSI 委員会
山口 敏和

O-23 医療機関での遺伝・ゲノム情報の取り扱いの現状と将来への展望 －当院での取り組みから－

¹ 筑波大学附属病院 遺伝診療部、² 日本遺伝子診療学会 ELSI 委員会、³ 千葉県がんセンター 遺伝子診療科、
⁴ 川崎医科大学 小児科学、⁵ 北海道大学病院 臨床遺伝子診療部、
⁶ 金沢大学附属病院 遺伝診療部・遺伝医療支援センター、
⁷ 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床遺伝子医療学
有田 美和^{1,2}、横井 左奈^{2,3}、徳富 智明^{2,4}、山田 崇弘^{2,5}、渡邊 淳^{2,6}、岡崎 哲也^{2,7}

O-24 遺伝子関連検査の非匿名化運用に向けた国内医療機関の現状と課題

¹ 千葉県がんセンター 遺伝子診断部 遺伝子診療科、² 日本遺伝子診療学会 ELSI 委員会、
³ 筑波大学附属病院 遺伝診療部、⁴ 川崎医科大学 小児科学、⁵ 北海道大学病院 臨床遺伝子診療部、
⁶ 金沢大学附属病院 遺伝診療部・遺伝医療支援センター、⁷ 岡山大学学術研究院 医歯薬学域 臨床遺伝子医療学
横井 左奈^{1,2}、有田 美和^{2,3}、徳富 智明^{2,4}、山田 崇弘^{2,5}、渡邊 淳^{2,6}、岡崎 哲也^{2,7}

座長：原田 直樹（京都大学 iPS 細胞研究所）

佐藤 謙一（国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科）

O-25 次世代シーケンスデータの分析的妥当性の検証

¹ 慶應義塾大学医学部 臨床遺伝学センター、² 同小児科

宮 冬樹¹、山田茉未子¹、中藤 大輔¹、渡邊 大輔¹、佐藤 正幸¹、武内 俊樹²、
小崎健次郎¹

O-26 難病領域における遺伝子関連検査

国立循環器病研究センター

久郷佳央梨、大澤理恵子、宮下 洋平、朝野 仁裕

O-27 新興感染症発生初期に開発される核酸増幅検査薬の評価検体に関する調査

国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部

築茂 由則、井上 貴雄

O-28 QIAcube Connect を用いた核酸抽出自動化の導入前評価

東海大学医学部付属病院 臨床検査技術科

渡部 僚介、宮澤 美紀、三浦 遼、間瀬 浩安、荒川 聡

O-29 低品質 DNA から遺伝子解析を成功させるための戦略 – 院内 CGP 検査の経験から –

¹ 慶應義塾大学病院 臨床検査技術室、² 慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット

吉田 和広^{1,2}、南 夏海²、山田 寛²、横田 浩充¹、中村 康平²、西原 広史²

O-30 薬剤対応バリエーション検出のためのオンコマイン Dx Target Test マルチ CDx システムと AmoyDx 肺癌マルチ遺伝子 PCR パネルの性能評価

¹ 山梨県立中央病院・ゲノム解析センター、² 山梨県立中央病院 検査部ゲノム検査科、

³ 同肺がん・呼吸器病センター、⁴ 東京大学

雨宮 健司^{1,2}、弘津 陽介¹、長久保由貴²、深澤 望那²、齋藤 良太³、筒井 俊晴³、
柿崎有美子³、宮下 義啓³、後藤太一郎³、小俣 政男^{1,4}

共催：栄研化学株式会社

座長：中谷 中（三重大学医学部附属病院 ゲノム医療部 / 伊賀市立上野総合市民病院）

**LS2 遺伝子変異検査で見過ごされてきたもの
～検査の品質保証（QA）とヒューマンファクター～**

自治医科大学

萩原 弘一

座長：村瀬 淳子（株式会社 LSI メディエンス 事業開発本部）

西田 美和（ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 ヘルスケアエクセレンス本部薬事グループ）

SY6-1 NGS 検査の妥当性確認について – 標準ゲノムを用いて精確さを評価する –

かずさ DNA 研究所 ゲノム事業推進部

糸賀 栄

SY6-2 コンパニオン診断薬の開発から販売までの諸課題

株式会社医学生物学研究所

中西 勝幸

SY6-3 後発マルチコンパニオン診断薬開発の道のり

栄研化学株式会社 研究開発統括部 基礎研究所

道行 悟、佐藤 正樹

SY6-4 NGS 検査の精度管理について

株式会社 LSI メディエンス ゲノム解析室 がんゲノム解析グループ

小柳 亮

SY6-5 NGS 検査の精度向上と効率化の両立に向けた取り組み

¹ 株式会社ビー・エム・エル 総研第三検査部 ゲノム検査 2 課、² 同 総研先端医療開発部 ゲノム開発課
鶴 拓真¹、齊藤 知良¹、石原 光昭²

SY6-6 体外診断薬としての PCR 製品の開発と品質保証

シスメックス株式会社 診断薬エンジニアリング本部

山岸 恵輔